

テレタイム eZX+ 交換マニュアル

はじめに

テレタイムeZX+の故障機と代替機を入れ替える手順についてご説明します。

代替機にネットワーク設定（通信設定）を設定して、クロッションから氏名等を受信することができます。

1. 未送信打刻の確認

故障機が通信可能な場合、以下の手順で故障機の未送信データを 0 件の状態にしてください。

- ① 時計画面の[≡]をタッチ



- ② [メンテナンス]をタッチ



- ③ 画面左下の未送信データが「0 件」になっていることを確認

未送信打刻がある場合は、以下の方法でクロッションへ打刻を送信します。



④ [ロックアイコン]をタッチ



⑤ パスワードを入力して、[確定]をタッチ

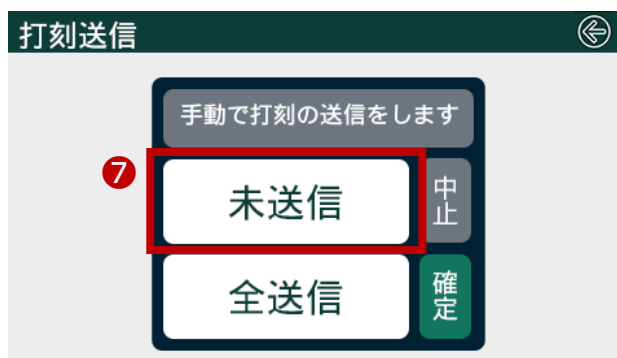


⑥ [打刻送信] をタッチ



⑦ [未送信]をタッチ

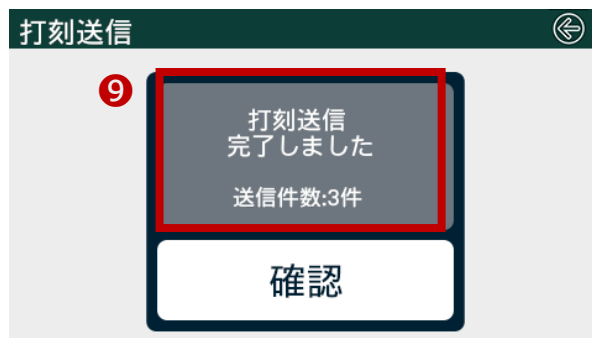
このとき[全送信]はタッチしないように
お気を付けください。



⑧ [確定]をタッチ



- ⑨ 「打刻送信完了しました」のメッセージが表示されたことを確認



2. 故障機で通信設定の確認

※代替機発送受付の際に通信設定を伺ったお客様

ネットワーク設定（通信設定）を設定してある代替機を発送しているため、手順 2・3 は飛ばして p.7 「4. 代替機で通信確認」から操作をおこなってください。

以下の手順で[通信設定]画面を開き、IP アドレス等を確認してください。

※故障機の画面操作ができない場合、ネットワークを構築したご担当者様にネットワーク設定（通信設定）を確認してください。

- ① 時計画面の[≡]をタッチ



- ② [ロックアイコン]をタッチ



- ③ パスワードを入力して、[確定]をタッチ



- ④ [設定メニュー]をタッチ



- ⑤ [通信]をタッチ



「ネットワーク」が「有線 LAN」の場合

[通信設定]画面で、以下を確認します。(全 3 ページ)

- ・ DHCP の設定
- ・ IP アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ ゲートウェイ
- ・ DNS
- ・ プロキシ設定

※プロキシ設定が「する」の場合は

以下も確認ください。

- ・ 認証なしの場合
プロキシ IP アドレス、プロキシポート番号
- ・ 認証ありの場合
プロキシ IP アドレス、プロキシポート番号、
プロキシ ID、プロキシパスワード

通信設定		1 / 3	⏪
▶ステータス表示	表示する		
▶ネットワーク	有線LAN		△
▶アクセスポイント探索	開始		
▶SSID	未設定		
▶パスワード	未設定		▽
▶			

通信設定		2 / 3	⏪
▶DHCPの設定	使用しない		
▶IPアドレス	---.---.---.---		△
▶サブネットマスク	---.---.---.---		
▶ゲートウェイ	---.---.---.---		
▶DNS	---.---.---.---		▽
▶			

通信設定		3 / 3	⏪
▶プロキシ設定	しない		
▶プロキシIPアドレス	---.---.---.---		△
▶プロキシポート番号	8080		
▶プロキシID	未設定		
▶プロキシパスワード	未設定		▽
▶			

お知らせ

[DHCPの設定]が[使用する]の場合、以下の確認は不要です。

- ・ IPアドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ ゲートウェイ
- ・ DNS

※[DHCPの設定]が[使用する]の場合、上記の項目を自動で取得します。

通信設定		2 / 3	⏪
▶DHCPの設定	使用する		
▶IPアドレス	初期化中...		△
▶サブネットマスク	初期化中...		
▶ゲートウェイ	初期化中...		
▶DNS	1.1.1.1		▽
▶			

「ネットワーク」が「Wi-Fi」の場合

[通信設定]画面で、以下を確認します。(全3ページ)

- ・ SSID
- ・ パスフレーズ
- ・ DHCP の設定
- ・ IP アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ ゲートウェイ
- ・ DNS
- ・ プロキシ設定

※プロキシ設定が「する」の場合は

以下も確認ください。

- ・ 認証なしの場合
プロキシ IP アドレス、プロキシポート番号
- ・ 認証ありの場合
プロキシ IP アドレス、プロキシポート番号、
プロキシ ID、プロキシパスワード

通信設定		1 / 3	⏪
▶ステータス表示	表示する		
▶ネットワーク	Wi-Fi		△
▶アクセスポイント探索	開始		
▶SSID	未設定		
▶パスフレーズ	未設定		▽
▶			

通信設定		2 / 3	⏪
▶DHCPの設定	使用しない		
▶IPアドレス	---.---.---.---		△
▶サブネットマスク	---.---.---.---		
▶ゲートウェイ	---.---.---.---		
▶DNS	---.---.---.---		▽
▶			

通信設定		3 / 3	⏪
▶プロキシ設定	しない		
▶プロキシIPアドレス	---.---.---.---		△
▶プロキシポート番号	8080		
▶プロキシID	未設定		
▶プロキシパスワード	未設定		▽
▶			

お知らせ

[DHCPの設定]が[使用する]の場合、以下の確認は不要です。

- ・ IPアドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ ゲートウェイ
- ・ DNS

※[DHCPの設定]が[使用する]の場合、上記の項目を自動で取得します。

通信設定		2 / 3	⏪
▶DHCPの設定	使用する		
▶IPアドレス	初期化中...		△
▶サブネットマスク	初期化中...		
▶ゲートウェイ	初期化中...		
▶DNS	1.1.1.1		▽
▶			

3. 代替機に通信設定を入力

故障機で確認した[通信設定]画面の内容を、代替機の[通信設定]画面に入力します。

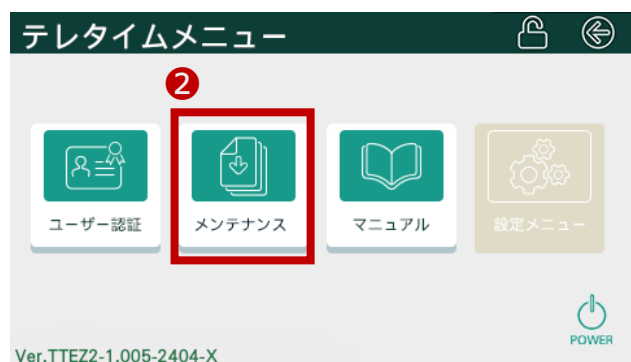
4. 代替機で通信確認

以下の手順で代替機がクロッシオンとの通信ができるか確認してください。

- ① 時計画面の[≡]をタッチ



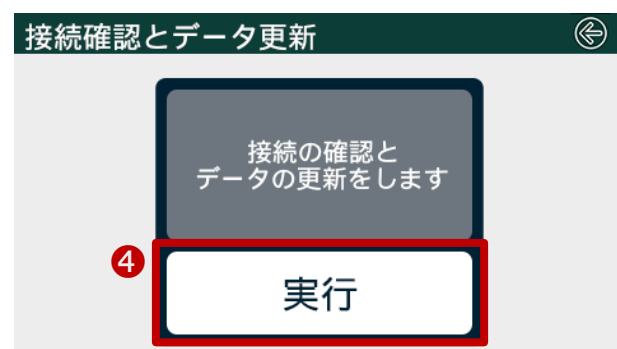
- ② [メンテナンス]をタッチ



- ③ [接続確認とデータ更新]をタッチ



- ④ [実行]をタッチ
「接続確認とデータ更新が成功しました」とメッセージが出ることを確認



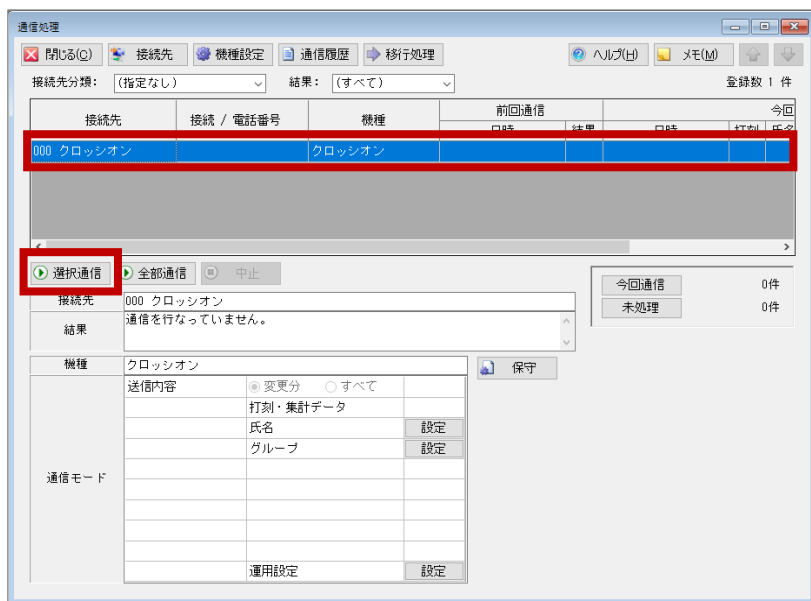
※「接続確認とデータ更新が失敗しました」と表示された場合は、代替機に設定した通信の内容に誤りがないかをご確認ください。また、代替機の再起動をお試しください。解消しない場合は、サポート窓口へお問合せください。

5. クロノス Performance でクロッションと通信

以下の手順で通信をおこない、運用設定や氏名をクロッションに送ります。

- ①[日常処理]→[通信処理]画面で、
クロッションを選択

- ②[選択通信]をクリック



注意

「運用設定」をタイムレコーダーごとに変更している場合※1は、以下の設定もご確認ください。

- ① [設定]→[契約タイムレコーダーの設定]を開く
- ② 故障機の識別番号（拠点名）を選択し、[通信内容]タブ・[切替時刻]タブの設定内容を確認
- ③ 代替機の識別番号を選択し、[通信内容]タブ・[切替時刻]タブで②と同じ内容を設定
- ④ [日常処理]→[通信処理]画面で、クロッションを選択
- ⑤ [選択通信]をクリック

※1 クロノスPerformanceで設定を登録している必要があります。

タイムレコーダーで設定をしている場合は、代替機で設定が必要です。

6. 代替機で動作確認

代替機がクロッションと通信された後に、

代替機でカードをかざして打刻ができることや、画面表示の内容をご確認ください。

問題がなければ、故障機を弊社へご返送いただきますようお願い申し上げます。



テレタイムeZX+は、以下のいずれかのタイミングでクロッションと通信されます。

- ・ 1時間に1回の定期通信
- ・ タイムレコーダーの再起動
- ・ タイムレコーダーで以下の操作を実行

[≡]→[メンテナンス]→[接続確認とデータ更新]
